

投資事業評価調書(新規)

課室名	道路建設課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路建設課長 河南 嘉彦 (尾原 勉)	内線	4 3 6 2 (4 3 7 6)
-----	-------	---------------------	------------------------	----	----------------------

事業種目	道 路	事 業 名	事 業 区 間	総事業費	約 9.5 億円 (うち用地補償費 0.2 億円)
		(主)宮津八鹿線 (浅間トンネル) 県単独事業	出石郡出石町暮坂～ 養父郡八鹿町浅間		

所 在 地	着工予定年度	完成予定年度
出石郡出石町暮坂～養父郡八鹿町浅間	H 1 6 年度	H 2 1 年度

事 業 目 的	事 業 内 容 等
<p>本路線は但馬地域の生活・観光・産業を支える幹線道路であるとともに緊急輸送路でもある。</p> <p>昭和38年に完成した浅間トンネルは、トンネル断面が狭小なことから、大型車のすれ違いが困難な状況にあり、トンネル前後の現道も急勾配、急カーブであることから、事故が多発している。</p> <p>また、高校生が通学しているにもかかわらず、歩道もないことから、交通安全上も非常に危険な状況にある。</p> <p>このため、バイパス整備により交通安全性の向上、緊急輸送路としての機能向上及び観光振興を図る。</p>	<p>バイパス L = 1,270m (内トンネル 370m)</p> <p>現況：W=5.0(5.5)m:1車線</p> <p>計画：W=6.0(10.0)m:2車線+片側歩道(2.0m)</p> <p>交通量(台/日)：現況 5,021</p> <p style="text-align: right;">計画 5,400</p>

評価視点	
(1)必要性	
安全・安心の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・トンネル幅員が狭小なことから大型車のすれ違いが困難で、接触事故や明かり部の急勾配・急カーブによる冬季スリップ事故が過去3年間で12件(内死亡事故2件)発生しているため、円滑かつ安全な車両の通行を確保する。 ・バイパスの整備により緊急輸送路としての機能向上を図る。 ・但馬農高へ自転車通学する高校生の安全確保を図る。
くらしと交流を支える	<ul style="list-style-type: none"> ・但馬地域の主要観光地である小京都「出石」へのアクセス性を向上し、観光振興、地域間の交流・連携強化を図る。 ・出石町中心部から最寄駅となるJR八鹿駅へのアクセス性の向上を図る。
地域ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> ・「浅間トンネル整備促進期成同盟会」から要望書が提出されている。 ・出石町振興計画、八鹿町総合計画において当該区間の早期整備が取り上げられている。
(2)有効性・効率性	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・安全性と観光振興による地域の活性化が図れるとともに、防災機能の向上が期待される。 ・車両と自転車・歩行者が分離され、交通安全の確保が図られる。 ・現トンネルは供用後40年が経過し、老朽化が著しいが、補修の必要性がなくなり、安全性が改善される。 ・費用便益比 B / C = 1.8
代替性	<ul style="list-style-type: none"> ・トンネル1車線案(現トンネル利用)では、現況明かり部の急カーブ、急勾配区間の改善ができず、走行・安全性の向上が図られない。また、経済性、施工性を勘案してもバイパス整備が妥当である。
効率性 (事業執行環境)	<ul style="list-style-type: none"> ・地元自治会から事故対策等を強く望まれており、地元の了解・協力体制も整っており効率的な事業執行が図られる。
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> ・道路法面等は周辺植生に配慮した緑化を行う。 ・縦断勾配が緩和されることにより、特に、大型車の排ガス量の減少効果がある。
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年9月には死亡事故が発生し、早期整備が叫ばれていることから、平成16年度より事業着手する。 ・トンネル等の掘削残土を同時期に整備を進める他事業への流用が可能であり、コスト縮減の観点から工程調整を行い平成16年度に着手する必要がある。

